

一般
質問

議員 3 人

町政を問う

9月定例会の一般質問は8日に
行われました。

紙面の都合により要約してお伝えします。

なお、詳しい内容は吉岡町図書館に備えてある
会議録で確認できます。

また、平成21年第1回定例会以降の会議録は、
吉岡町ホームページでもご覧になれます。

一般質問は、執行機関が提出した
議案と関係なく、まちの行政全般にわたって、
議員個人が執行機関に質問し、
見解を求めるものです。
吉岡町では、質問および答弁をあわせて、
1人60分の持ち時間があります。

■金谷 康弘議員（15ページ）

1. 防災関連
2. 文化関連
3. 安全関連
4. 農業関連

■柴崎 徳一郎議員（16ページ）

1. スポーツ推進で健康長寿のまちづくりを
2. 利根川河川敷未整備地の有効活用策を
3. 子どもの貧困対策に向けて
4. 地域課題について

■小池 春雄議員（17ページ）

1. 学校給食無料化
2. 就学援助制度
3. 介護保険総合事業
4. スラグの撤去



インターネット配信中です

本会議の様子を生中継、録画でも配信。アクセス方法は

吉岡町議会

検索





金谷康弘 議員

小・中学校に 防災倉庫の設置を

答 本年度明治小・

駒寄小に設置

問 小・中学校に防災倉庫（備蓄品）の設置を。

答 町民生活課長 明治・駒寄両小学校

については、設置が決定。中学校も今後検討。

備蓄品はアルファ米1000食分を検討中で、今後増やしていく考え。

問 アルファ米、ほか備蓄品のアレルギー対策は。

答 町民生活課長 アルファ米などには、

は難しい。

問 福祉避難所としての保健センター、

老人福祉センターの防災倉庫および備蓄品の状況は。

答 町長 保健センタ

ーについては役場に防災倉庫を2つ設置。備蓄品としてお粥、粉ミルク、哺乳瓶など。

老人福祉センターは

昨年防災倉庫を設置したところで、備蓄品については社協と検討。

問 福祉避難所として老人施設との協定は。

答 町長 健康福祉課と協議したい。

問 飲料水の確保として、井戸水の利用を。

答 町長 三国コカ・コーラ、伊藤園と

災害時における協定を結び、飲料水の提供を受けることに。また渋川市と応急給水に関する協定も結んでいる。

文化財事務所の基本計画は

答 92坪、事務室・展示室
兼実習室など

方以外で事務室・展示スペース兼実習室・収蔵庫・図書室・倉庫で構成。

問 文化財事務所の運用方法は。

答 教育委員会事務局 長 まちの歴史が

概観できるよう文化財を展示。古墳・養蚕文化については、テーマを定めた展示を行う。

問 花と緑のぐんまづくりの計画状況は。

答 産業建設課長 桜咲く4月から1カ

月間、役場、文化センター、道の駅よしか温泉を会場に開催。本事業は、記念すべき第10回の開催となることから、役場全体で取り組んでいく。



災害時に役立つ非常用食品



柴崎徳一郎 議員

スポーツ推進で 健康長寿のまちづくりを

答 さまざまな施策で、

全町的に取り組む

問 スポーツ推進で健康長寿のまちづくりを。

答

町長 さまざまなスポーツ施策で全町的に取り組む必要があると考える。

問 保健センターを拠点とする「健康まつり」とは。

答 健康福祉課長 よしおか健康推進協議会発足5周年を記念して、11月26日（日）に開催する。

問 職員健康増進活動の一環として、ラジオ体操を実施されている。

答 総務政策課長 住民理解が得難く、実施はむずかしい。

問 吉岡中での部活外部指導者の現況は。

答 また、スポーツ少年団と体育協会専門部の指導資格者の現況は。

問 教育委員会事務局長 まち単独のスポーツエキスパート事業

で7部活9人の指導依頼。スポーツ少年団では、1団当たり2人以上の有資格者登録を義務付け、体協専門部は、個々の対応である。

問 障がい者スポーツの普及推進の考えは。

答 町長 心豊かな環境づくりに取り組んでいきたい。

問 日本・群馬県体育協会は、スポーツ協会と名称変更し、組織改善を進めているが、まちの考えは。

答 教育長 体育協会長らに趣旨を伝える。

問 文化・スポーツ・健康づくり部門の統合など、庁内の機構改革の検討時期では。

答 町長 より大きな視野でとらえた組織・体制づくりを念頭に検討する。

問 右岸域（ケイマンガルフ場南側）を自然公園に活用を。

答 町長 町民皆様の意見を参考に検討する。

問 右岸域（渋川市境）にラジコン、ドロ

利根川河川敷未整備地区の有効活用を

答 町民意見を参考に検討する

問 一の操作訓練場を。町長 隣接の渋川市に一定の配慮が必要。

答 まち全体での防災訓練の実施予定は。町民生活課長 自治会や消防団と協議検討する。

問 吉岡川の氾濫危険水位の基準は。

答 町民生活課長 現在設定されていない。まちは、非常時に見回り対応している。

問 都市計画道路・漆原総社線未整備地区の見直しとは。

答 産業建設課長 未整備区間におけるルートの概略検討を行っている。



元気県ぐんま障がい者スポーツフェスタでの、車椅子バスケット体験風景（吉岡中体育館）



小池春雄 議員

給食費無料化は公約

答 かけがえのないことには変わりはない

問 これまで何度も質問しているが、学校給食費の無料化は、町長の公約。公約とは当選の晩には約束を実現実行することだ。一部助成はされているが、

問 平成26年度に行われた、文部科学省の就学援助制度実施の全国調査では、平均が

るが、まだ無料化は実現されていない。平成30年度の予算編成も間近になっている。任期も残すところわずかであるので、無料化の実現を望む。

答 町長 公約の中で、無料化に向けて努力するとかかっているが、それは今でも変わっていない。まちで暮らす子どもたちのために、今何が必要かを適正に判断し、限られた予算の中で優先順位をつけてやっていきたい。

問 介護制度の改正で、本年4月から介護保険事業が本格スタートした。^{※1}介護予防・日常生活支援総合事業と生活支援体制整備事業は各自自治体で取り組む事業で、住んでいる場所ごとにサービスが違ふ。まちでは以前と同じサービスが実施されているか。また、配食サービスの拡充が求められるが、今後の実施計画は。

答 町長 今後のサービスを行う上で、ボランティアは重要な担い手だが、高齢化と後継者不足になっている。駒寄小西の民家を改修し、この施設を核としたボランティア育成を考えていきたい。配食サービスは現在22から31人実施。ボランティアと町内NPOに依頼。配食サービスの充実もはかっていきたい。

答 拠点整備で

ボランティアを育成

介護制度の充実を

答 教育長 まちの就学助成は2・64%。周知方法はホームページに

ジに掲載や、案内書を漏れなく児童生徒の家庭に届けている。生活扶助基準の1・3倍としているが、拡充は町長と協議していきたい。

ミニ解説



ボランティアによるおいしい配食（老人センター）

^{※1} 介護予防・日常生活支援総合事業
市町村が中心となって、地域の実情に応じて、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者などに対して効果的・効率的な支援などをめざすもの。
^{※2} 生活支援体制整備事業
総合事業を行うため、高齢者の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、支援体制の充実・強化をはかること。

問 大同特殊鋼渋川工場より出荷された鉄鋼スラグが、まちでも使用され、水源の汚染も心配される。撤去

答 町長 町民の安心安全のために努力していきたい。